

研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術後に生じる肺合併症の予測因子に関する検討

研究期間： 西暦 2021年 5月～西暦 2021年 6月

対象材料：

病理材料（対象臓器名： ）

生検材料（対象臓器名 ）

血液材料 遊離細胞

■その他（年齢、性別、既往歴、併存合併症、血液検査、術前心エコー所見、胸部レントゲン、手術・麻酔記録、経過表）

上記材料の採取期間： 西暦 2015年 1月～西暦 2018年 12月

意義：高齢者に多い大腿骨頸部折は受傷時から強い疼痛を伴い手術まで臥位を強いられる。待機期間が長ければ術前に無気肺を形成し術後肺合併症（PPC）を引き起こしやすくなる。PPCは周術期死亡や合併症の主原因となるため発症の危険因子の認識は非常に重要となる。しかし、大腿骨頸部骨折におけるPPC発症の予測因子に関する報告は少ない。当院で人工骨頭置換術を受けられた症例を後ろ向きに検討し解析することで予測因子を抽出できその対応策を講じることにより今後の、より安全な周術期管理に役立てる。

目的：大腿骨大腿骨頸部骨折に対し人工骨頭置換術を受けられた患者の周術期データを後ろ向きに検討し解析することでPPC発症の予測因子を抽出する。予測因子の対応策を講じることで今後の、安全な周術期管理に役立てることを目的とする。

方法：2015年1月から2018年12月に下関市立市民病院で大腿骨頸部骨折の診断で人工骨頭置換術を受けられた患者さんを対象とします。患者さんの臨床データ（年齢、性別、術前心エコー所見、胸部レントゲン術前の血液検査所見、術中・術後経過所見）をカルテより収集します。そのうえで術後肺合併症（PPC）の有無と前述の検討項目を解析します。情報の収集にあたってはID等の個人情報とは無関係の番号付与による匿名化を行い、平田孝夫が患者情報をとりまとめ管理します。既存情報のみを用い、新たに研究のために患者さんから検体を採取したり、検査を行うことはありません。

個人情報の取り扱い：患者さんの臨床情報はID等の個人情報とは無関係な番号付与による匿名化により管理され、プライバシーが保護されます。またこれまでに手術をうけた患者さん（または親族の方）で、ご自分の臨床情報を研究に使わないで欲しいというご希望があれば下記連絡先までご連絡いただけますようお願いいたします。

問い合わせ・苦情等の窓口：

〒750-8520

山口県下関市向洋町一丁目13番1号

下関市立市民病院 麻酔科 部長 平田 孝夫

TEL 083-231-4111 FAX 083-224-3838